

深山ニ生ズルモノ最長大ニシテ莖ノ園三四寸、高サ丈餘ニ至ル、中空クシテ節アリ竹ノ如シ、老タルモノハ杖ト爲ベシ、然ドモ折レヤスシ、蝦夷ニハ園六七寸、高サ一丈五六尺ナルモノアリト云フ、春宿根ヨリ苗ヲ發スル時、形土當^{ウタド}歸芽ノ如シ、綠色微紅ニシテ紅紫斑アリ、二三寸ノトキ小兒採テ生食ス、味酸シ、煮食ヘバ酸味ナシ、漸ク長ズル時ハ堅硬食べカラズ、葉互生ス、形圓長ニシテ一尖アリ、長サ六七寸、小者三四寸、又三尖ニナルモアリ、變形ノモノ多シ夏葉間ニ花ヲ開ク、穗ヲナシテ攢簇ス、紅白二種アリ、花後實ヲ結ブ、白花ノモノハ、花實トモニ唐種ノ何首烏ニ似タリ、實三角ニシテ薄キヒレアリ、山草蘚^{オニドコロ}莢ノ如シ、大サ三四分、コレヲ望メバ花ノ如シ、紅花ノ者ハ實モ赤シベニイタドリト呼ブ、

〔延喜式内膳^{三十}九〕漬年料雜菜

虎杖三斗^{合○中略}一升二右漬春菜料

〔食物和歌本草〕虎杖

虎杖は微温の物ぞ毒はなし月水下し血塊によし 虎杖は産後の古血下りかねはがみのはるに食すべき也 虎杖はよく血を破る物なれば姪女にきらふべき也 虎杖の葉をより食し暑氣を去又は腸風下血にもよし

〔日本書紀十二〕去來穗別天皇^{仲○履}二年立爲^{正○反}皇太子天皇^{正○反}初生于淡路宮生而齒如一骨容姿美麗、於是^有井曰瑞井、則汲之洗太子時多遲比^{一本補、下同}○比原脫、據^{花落有于井中}因爲太子名也、多遲比花者今虎杖花也、故稱謂多遲比瑞齒別天皇

〔枕草子八〕見るにことなることなき物の、もじにかきて、ことぐしきもの、いたどりはましてとらのつゑとかきたるとか、つゑなくともありぬべきかほつきを、

〔伊豆七島調書〕八丈島